

Rotary



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／牛山幸一
- 副会長／梅垣和彦・林広一郎
- 幹事／中嶋孝一
- R 情報(会報)委員長／濱 毅

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2794 回例会 2017 年（平成 29 年）05 月 23 日(火)

点 鐘：牛山幸一 司 会：上條英雄
斉 唱：それこそロータリー ラッキーNo：NO.10 守屋麻里

会長挨拶

今、日本国内では、森友問題がまだ片付かない中、今度は加計学園問題と、総理周辺が騒がしくなっています。また、アメリカ大統領の周辺も、ロシア疑惑で急展開しています。

そんな中で明るい話題が飛び込んできました。秋篠宮家の長女、眞子さまが、一般人の小室さんと婚約されたと報道されました。小室さんの記者会見をテレビで見ましたが、なかなか大変だなと思いました。

また、女性皇族が一般人と結婚すると、皇籍を離脱するという現在の仕組みですと、皇族が減少してしまう問題が課題となってきているようです。ともあれ、若い御二人を、マスコミもあまり騒がず、優しく見守ってやるべきではないでしょうか。

会長報告

- 富岡RCとの友好クラブ締結調印式に、明日総勢 13 名で行ってきます。富岡市長様の来賓ご祝辞があるというので、本日岡谷市長に祝電をお願いいたしました。

幹事報告

- クールビズということで、次回例会よりノーネクタイでお願いいたします。
- 明日の富岡RCの調印式に参加される方、ホテル岡谷 11 時出発です。ゴルフ後表彰式参加費 3,000 円。帰岡後の懇親会費 3,000 円、計 6,000 円をご用意ください。
- 第 27 回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会 6/23(金)に参加希望の方は事務局までご連絡ください。

委員会報告

親睦委員会 先日の親睦ゴルフコンペには多くの方にご参加いただき、無事楽しく終了できました。ご協力ありがとうございました。

今年度最後の親睦委員会企画の6/3(土)バスハイクに現在14名の参加希望があります。まだ若干余裕がありますので、参加できる方は事務局までご連絡ください。

《助成金贈呈式》



卓話「児童養護施設の地域における子育て支援の課題」

つつじが丘学園園長 川瀬 勝利様

つつじが丘学園はつるみね公園にありまして、まだお花はきれいに咲いております。お祭りが終わった後からが一番良かったかと思いますが、つつじが丘学園の駐車場も使えますので、お祭りの時にはそれにあわせてつつじが丘学園に足を運んでいただくのも良いのではないかと思います。

また日頃より児童養護施設つつじが丘学園、社会福祉法人つるみね福祉会に対しまして皆様から心温まる善意ご協力をいただいております事に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。また歴史と伝統のあるロータリークラブにお招きいただきお話しをする機会をあたえていただいた事に、子ども達もそうですが代表して御礼を申し上げます。

最近新聞報道でも、子ども食堂、子どもの貧困等々のお話しが出ております。児童養護施設つつじが丘学園は昭和26年の設立になりますので67～8歳くらいになります。当時は岡谷市と塩尻市の間の塩嶺学園という諏訪地域にひとつしかない児童養護施設がはじまりで、子どもたちは北部中学校に通っており、その近くにはアルピコのターミナルもあったと聞いております。昭和26年の前はどんな建物だったかという、一番最初は高台にあった塩嶺荘という宿でありました。その後戦前戦中ともに戦前の思想犯の収容所となり、終戦と同時に子どものための福祉施設塩嶺学園に変わったということです。当時戦災孤児は全国で12万人以上が浮浪、雨乞いの中で生活していたと聞いております。そんな中毎年5月のこどもの日にあわせて、総務省が今の子どもの実態について調査をしています。5月4日に発表した人口の関係は、現在の子どもの推計人数は前年より17万人少ない1,571万人になっており36年間減少しています。この国における総人口の子どもの割合も0.1ポイント減の12.4%になり、これについては43年連続で過去最低を更新しています。子どもの数、割合ともに30年以上にわたり少なくなっているのがわかります。性別は男子805万人、女子767万人で、都道府県別では前年より増えたのはひとつだけで東京のみです。世界基準でもこの国の子どもの割合、人数がものすごく減っているということになります。となると、子どもに関係する施設や事業があっても小さくなっていったいいわけですが、実はそうではありません。今つつじが丘学園含め全国の児童施設が約600あります。そこには約4万人の子どもたちが施設で生活しているという現状があるわけです。4万人が施設を利用する理由や原因の60～70%は児

童虐待によるものといわれています。最近のニュースでも色々なことが言われていますが、一番多いのは0歳～1歳までの間です。児童虐待、親子心中などの事件事故も一番多いのは0歳～1歳といわれています。現在つつじが丘学園の定員は45名のなかで、4月1日スタート時は43名でしたが、このゴールデンウィークで一人女の子が入りましたので、現在44名の子どもたちが生活しております。入所率にしますと95%くらいなので、ベッドはあとひとつしかないという状況が現実としてあります。

今は児童福祉の分野になりますので通常は0歳～18歳までが法律上児童養護で措置、生活となりますが、実際は20歳の年齢まで生活する基準、年齢制限が緩和されています。今後は22歳までこの国として認めていくわけですが、そこには、ひとつは進学の問題もあります。全国的に専門学校、短大、大学に進学する高校3年生は全国的に約8割以上で、そのうち施設の子どもは約2割か3割で、この割合は一般家庭の貧困層といわれる生活保護世帯と全く同じ割合であり、経済的理由が子供たちの可能性や未来等狭めていることとなります。

昨年度5月に改正児童福祉法があり、子どもは今までは「保護の対象」であったものが、「権利の主体」として法律上明確に定められました。ということは、子どもがこう生きたい、こうしたいという事に対して、社会や大人たちがきちんとその声、話を聞いて実現できる道すじを、この国としても社会としても作らなければいけないのであろうと私は理解しております。今現実に17歳や18歳と揺れ動いている子どもたちが家族と離れて何とか頑張って生きてきました。先生も学校へ行けとうるさかったかも知れないが何とか高校3年生まで続けてきました。ひとりの女の子はその先に大学生活を夢描いています。我々からすれば18歳までが児童養護施設の仕事なので、あとは君一人でやりなさい、君一人で道を開きなさいと言っても、私自身は罰せられることはないかもしれないが、その子が生きてきた道のり、今で言うライフワークストーリーがあり、その子の人生の中において出会った人や支えてもらった人がいるかどうか、その後の人生の幸せを今度自分が作り出すエネルギーになるだろうと思います。経済的部分、人間的部分両方で支援が必要であると思います。現実的に進路を抱えているつつじが丘学園の女の子と日々悩みながらできる限りのことはしてあげたい、できれば大学に入学してほしいと思っています。今は国も県も給付型奨学金や利率を落とした貸与という形での給付もあります。ただ、それだけでは足りない部分もあるので、生まれはそれぞれであっても育ちは同じにさせてあげるべきだと、それが社会をつくる道だろうと思っています。

つつじが丘学園で生活する子どもたちも、子どもが原因で来ているわけではありません。家族関係、養育できない事情で施設を使っております。今「ひとり親家庭」という言葉もありますが、それは言い方を変えれば親がひとり親になりたいだけで、子どもは両方に育てられたいわけです。子ども中心に考えた時に、この国の本当のひとり親の割合は、両親もしくは片親が死別した場合で8%だけです。残りの92%はこの国のどこかに親がいます。しかし大人



側がひとり親という定義の中で、親ひとりで子どもを育てている形にしているだけなのです。だとすれば、子ども食堂もそうですが一番は「居場所」を作ってあげることです。子ども食堂のもうひとつの意味合いは、「経験」と「コミュニケーション」を子どもに与えることです。この二つが大事なんです。今、各地域住民が一生懸命子ども食堂をやっている所がありますが、本来ならば行政が手立てをしてやるべきことを、民間や住民に政策としてつけているだけではないかという厳しい目も私は持っております。やはり過去に豊かだったものが今失われ、居場所、経験、コミュニケーションが必要とされていると思うと、これから施設にいる子どもたちや地域で、ひとりで悩み育っている子ども、その子育てに関係している親の方々の相談や支援に、つつじが丘学園が60数年間やってきたノウハウを活かして、今後は子どもだけでなく家族の支援も含めて充実したライフスタイルが描けるような支援をしていくを当法人でも考えております。

家族や子どもの福祉の向上にむけて、今後とも岡谷のみならず諏訪地域の困りごとを引き受けながら、また、つつじが丘学園には全国から視察もきておりますので情報発信をしながら地域支援、地域の活性化も含めて取り組んでまいりたいと思いますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げまして私からの御礼の話とさせていただきます。本日はありがとうございました。

ニコニコボックス

5月16日

小口隆 昨日の親睦ゴルフコンペで優勝させて頂き、ありがとうございました。
牛山幸一・梅垣和彦・小口泰史・笠原新太郎・北澤洋之介・小山智・瀬戸雅三・高木昭好・竹村一幸・中嶋孝一・中村文明・濱毅・濱俊弘・林靖高・平沢清文・宮坂晃介・宮坂宥洪・守屋麻里・矢島進・矢島實・山岸邦太郎・山崎典夫・濱透 本日は親睦ゴルフ大会でした。みなさんお疲れ様でした。

太田博久 先月、念願の100キロウルトラマラソン初完走できました。

5月23日

今井康善・牛山幸一・上條英雄・北澤洋之介・小山智・佐伯克己・佐藤有司・瀬戸雅三・高木昭好・竹村一幸・中嶋孝一・中村文明・濱俊弘・林広一郎・林裕彦・林靖高・宮坂晃介・宮坂伸・宮坂宥洪・守屋麻里・矢島實 つつじ満開のつつじが丘学園 川瀬園長様 ようこそいらっしゃいました。卓話をよろしく願いいたします。

出席報告

会員数41名、出席者23名、出席率60.53%、前々回訂正82.05%

2016~2017年度 RI テーマ
人類に奉仕するロータリー
ROTARY SERVING HUMANITY



